

人と川が仲良く暮らすために

～ 鶴見川の河川維持管理～



～ 堤防点検の様子～
台風などによる洪水に備え、堤防
や樋門などの施設に異常がないか
点検しています。

堤防点検の様子

鶴見川のある、豊かな暮らしを守る。

鶴見川は古くから、
水害が起こりやすい川と言われてきました。
そんな鶴見川を、みなさんが安心・安全に利用できるよう、
京浜河川事務所では、災害対策をはじめとする
河川の維持管理を行っています。
鶴見川について深く知り、豊かな暮らしを守る。
令和3年度に行った河川維持管理について
ご紹介します。

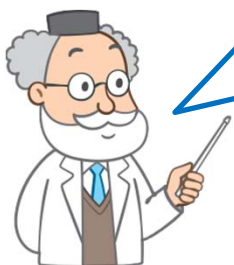


鶴見川のカワセミ

鶴見川ってどんな川？

鶴見川は、東京都町田市北部にある湧水（田中谷戸）を源流として恩田川、早淵川など12の支川と合流しながら、川崎市や横浜市の市街地を流れて東京湾に注いでいます。
京浜工業地帯の中心部や港北ニュータウンなどの都市部を流れる川でありながらも、豊かな自然を残す一級河川です。

※この河川管理レポートは、鶴見川、矢上川、早淵川及び鳥山川の国管理区間に関する維持管理状況について紹介しています。



流域とは？

川を流れる水は、“流域”と呼ばれる山や平地など、広い範囲に降った雨が集まったものです。
鶴見川の流域は、多くが人口密度の高い市街地ですが、昔ながらの里山など自然も残っています。

【鶴見川のデータ】

流域面積：約235km²
幹川流路延長：約43km
流域内自治体：町田市、稲城市（東京都）
川崎市、横浜市（神奈川県）
流域内人口：約216万人※
※平成22年度国勢調査に基づく算定値

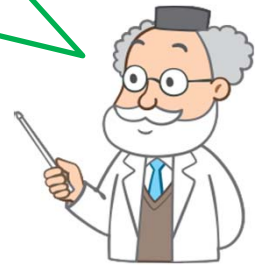
鶴見川にある国管理施設

京浜河川事務所では、鶴見川、矢上川、早淵川、及び鳥山川の国管理区間にある総延長約45kmの堤防と鶴見川多目的遊水地及び遊水地排水門を管理しています。

その他、監視カメラや水位計等の観測機器も含めて異常が見られないか点検や確認をしています。



鶴見川遊水地排水門(2002年完成)

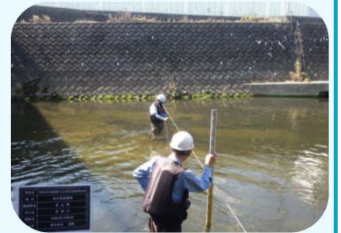


知る・調べる

3頁へ

鶴見川に変わったことがないかをチェックして、安心・安全な環境づくりのための計画を立てています。

- 水文・水理等観測
- 測量
- 河川巡視
- 堤防点検 など



流量観測
鶴見川(浅山橋)

つながる

6頁へ

自治体や地域の人々と協力して、災害情報の共有や鶴見川の自然を守る活動を広げています。

- 水防連絡会
- 流域懇談会
- 防災キャラバン など



鶴見川流域水協議会

流域懇談会等

守る

5頁へ

災害へ備えるとともに、誰もが気持ちよく利用できる環境を保全しています。

- 堤防・護岸補修
- 不法投棄対策
- 水防のための対策など



アレチウリ(特定外来生物)駆除

河川維持管理の仕事とは？

洪水や高潮による災害を防ぐため、気持ちの良い利用環境をつくるため、また豊かな自然環境を守るために「知る・調べる」「守る」「つながる」をモットーとして、鶴見川の安全と安心を支えています。

知る 調べる

鶴見川の流れや堤防に異常がないかを
チェックして、安心・安全な環境づくりの
ための計画を立てています。

水文・水理等観測

流域に降った雨量や、川の水位、水質などを観測して、洪水や渇水に備えるための対策検討に役立てています。

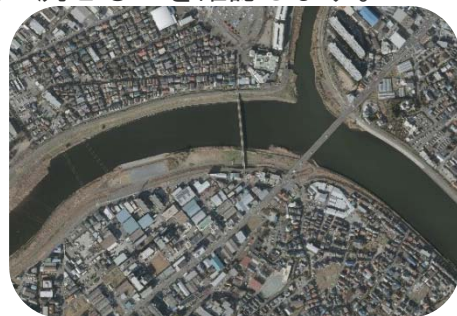


水質調査

水質調査

測量

堤防と川の形状について、おおむね5年に1回の頻度で広範囲に測量します。そのデータを基に、川がどのくらいの洪水を安全に流せるかを確認します。



鶴見川の航空写真

河川環境の調査

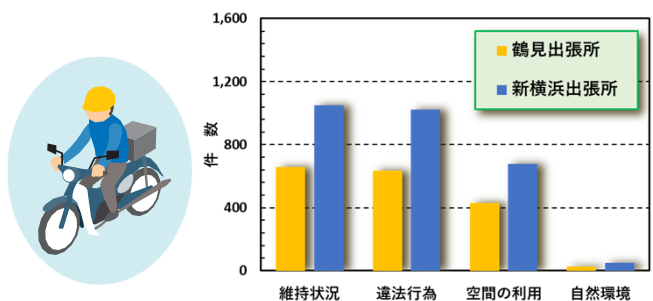
鶴見川の豊かな環境を守るために、動植物の生息状況や河川の利用実態などを定期的に調べています。令和3年度は、「河川環境基図作成調査」を行いました。



■ 過去データは『河川環境データベース』で閲覧できます。
<http://www.nilim.go.jp/lab/fbg/ksnkankyo/>

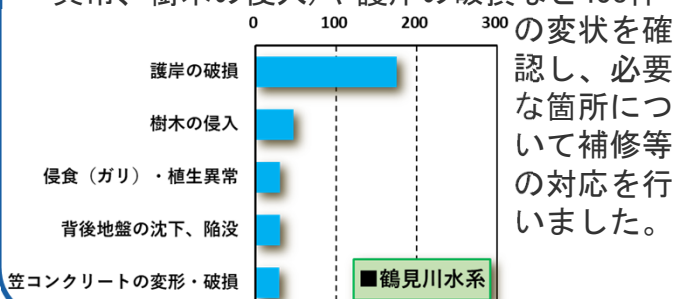
河川巡視(パトロール)

堤防の状態や安全な利用を確認するために日頃からパトロールしています。主に、違法行為の発見や堤防の状態、河川の利用状況などを確認しました。



堤防点検

堤防が壊れないように、毎年、堤防や護岸を歩いて異常がないか目視点検を行っています。令和3年度は、堤防法面の傷み(侵食・植生異常、樹木の侵入)や護岸の破損など438件の変状を確認し、必要な箇所について補修等の対応を行いました。



構造物・機械設備点検

鶴見川で管理している遊水地排水門が洪水などの緊急時に問題なく動くよう、構造物や機械設備に異常がないか、定期的に目視と計測による点検や運転確認等を行っています。



鶴見川遊水地排水門の点検

街や人への被害を未然に防ぎ、誰もが鶴見川 とともに安全・安心な生活を送れるよう パトロールや点検をしています。



堤防除草

堤防を維持するための点検が適切に行えるように、堤防の草刈りを行っています。広い堤防での作業は、ハンドガイドと呼ばれる大きな除草機械を作業員が操縦して除草を行います。



堤防の除草作業

安全利用点検

鶴見川の利用が増えるゴールデンウィーク前には、堤防や水際、階段などを中心に安全対策や注意喚起が必要なところがないか点検を行います。

令和3年度は、階段や看板の破損・汚損を確認して、安全に利用できるように修繕等の対応を行いました。



手すりの破損を確認

許可工作物の検査

沿川自治体等が管理している樋管等の施設（許可工作物）に故障や不具合がないか確認するための検査を行います。

対象施設の管理状況を確認し、必要に応じて補修等の対応を指示します。



履行検査の様子

電気・通信施設の点検

洪水や災害時などに鶴見川と矢上川、早淵川及び鳥山川の様子をリアルタイムで観察できる監視カメラ（CCTV）や水門の遠隔操作施設などの電気・通信施設を定期的に点検・整備を行います。



監視カメラ（CCTV）



テレメータ設置

■川の様子が見られる『ライブカメラ』は裏表紙をご覧ください。

観測機器の点検

水文・水理観測を行うために鶴見川と矢上川、早淵川及び鳥山川に設置している観測機器が、正しく動いているか、異常がないかを定期的に点検・整備しています。

また、必要に応じて部品の交換や修繕を行います。



水文・水理観測機器の点検補修

洪水・地震時の対応

洪水時には、河川の水位の上昇や堤防などの施設に異常がないか確認するためにパトロールを行います。

また、震度5弱以上の地震が起こった後には、堤防等の施設に異常がないかを速やかに点検を行います。

令和3年度は、10月7日に発生した千葉県北西部を震源とする地震で、震度5弱を観測したため、管内の施設点検を行い、異常がないことを確認しました。

守る

災害へ備えるとともに、
誰もが気持ちよく利用できる
環境を守っています。



堤防等の補修

規模の大きな洪水が発生した場合でも、堤防や護岸などの人と街を守る施設が壊されないように、巡視や点検で確認された異常箇所は早期に補修します。
令和3年度は、堤防の法面や側溝などを補修・清掃しました。



堤防の堤脚側溝の清掃前後

安全施設等の補修

鶴見川を訪れる人々の安全を確保するために、不具合のある施設を補修しました。
令和3年度は、手すりや擁壁などで壊れていたり、汚れていた箇所の補修や安全対策を行いました。



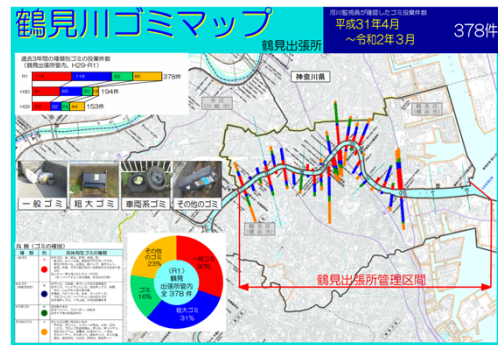
手すりの補修前後

ゴミの回収(巡視・維持工事)

河川巡視で多く確認されるのが「家庭ゴミ」、「粗大ゴミ」です。これらのゴミは上流から漂着するほか、不法投棄も多数あります。不法投棄されたゴミは投棄者が回収処分するのが原則です。しかしながら、投棄者を特定できない場合は、河川利用者が気持ちよく河川を利用できるよう、ゴミを回収処分しています。また、ゴミの多い場所を示したゴミマップを作成公開することで、河川での不法投棄が減少するよう啓蒙しています。



不法投棄されたゴミ



鶴見川ゴミマップ

HP(河川ゴミマップ)

<https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin00265.html>



Topics

鶴見川多目的遊水地が洪水を貯留!

令和元年東日本台風で約94万m³の洪水を貯め込みました。
平成15年の運用開始以来、3番目に多い貯留量でした。

- ✓「新横浜公園が冠水している」のではない!?
- ✓一時的にわざと洪水を貯め込んで、被害が起らないようしている。
- ✓周りより少し低い堤防(越流堤)から洪水を流し込む。



10月13日 6時30分頃

つながる

地域の人々と協力して、
災害情報の共有や鶴見川の
自然を守る活動を広げています。



自治体などと協力して行っている取り組み



水防訓練の実施状況

地域と連携した水防活動への取り組み

「水防災意識社会再構築ビジョン」の取り組みの一つである「洪水氾濫による被害の軽減、避難時間確保のための水防活動の取り組み」として、地域の関係機関と連携した水防訓練（左の写真は、平成元年多摩川での開催状況）等を実施しています。



関東地方水質汚濁防止対策連絡協議会

関東地方水質汚濁防止対策連絡協議会 多摩川・鶴見川・相模川部会

関係機関とのつながりを深め、多摩川・鶴見川・相模川水系の水質汚濁事故の発生状況や防止対策の共有、連絡体制の確認などを行うために開催しています。



鶴見川流域水協議会

鶴見川流域水協議会

「鶴見川流域水マスタープラン」をつくり、治水施設の整備の推進、流域の持つ保水・湧水機能の維持などの総合的な治水対策に加え、水循環系の健全化に関わる施策を行っています。

HP(鶴見川流域水マスタープラン)

<http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin00274.html>



地域のみなさん参加型の取り組み

河川協力団体制度

自発的に河川の維持・河川環境の保全活動等を行っている団体を支援しています。鶴見川では令和3年度末時点で一つの団体（特定非営利活動法人鶴見川流域ネットワーク）が河川協力団体として指定され、令和3年度はオンラインで「流域治水シンポジウム2022」などを開催しました。

リバーシビックマネージャー (RCM)

河川管理をより充実させるため、平成12年度にリバーシビックマネージャー（川の市民管理者）制度を創設。公募により委嘱された住民の方々に、河川について気づいたことなどを会議で意見交換していただいています。

HP(リバーシビックマネージャー)

<https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin01058.html>

鶴見川流域懇談会

「鶴見川流域水マスタープラン」を推進するため、流域の課題の解決を目指す取り組みを行うにあたり、市民と行政の情報交換、意見交換を行い、それぞれの主体的な取り組みを活発化するとともに、その結果を鶴見川流域水協議会へ報告するため年1回以上開催しています。令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より書面開催とし、一般アクションプランの活動状況についてご意見シートにより意見聴取を行いました。

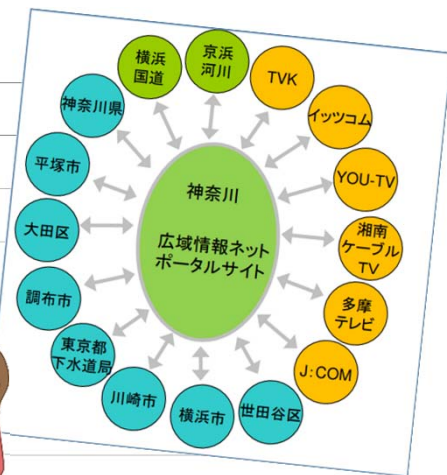


流域治水シンポジウム2022



自治体との光ケーブル接続

京浜河川事務所においては、関東広域情報ネット構想に基づき、関係自治体との間に光ケーブル接続による情報ネットワーク整備を進めています。また、神奈川広域情報ネットを活用して自治体との情報の共有化を図り、的確、迅速に防災活動を行っています。



川の情報を知ろう！

京浜河川事務所では、川の水位や想定浸水域、河川の現況画像など、防災にも役立つ様々な情報をホームページで配信しています。

マルチコール・ケイヒンモバイルによる情報周知

洪水時の避難などに役立ててもらえるよう、雨量や川の水位情報などを外出先からも確認できるサービスを行っています。

HP (防災情報)
<http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin00247.html>



水位観測局地点地図

洪水浸水想定区域図

洪水が起き、万一堤防が決壊してしまった時に、どの場所が水に浸かる恐れがあるかの情報を提供しています。なお、浸水想定区域図に避難場所等を書き加えた洪水ハザードマップは各市区で作成しています。

HP (洪水浸水想定区域図)
https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin_index070.html



鶴見川洪水浸水想定区域図

ライブカメラ

京浜河川事務所の管理区間は、河川監視カメラが設置してあり、いつでも河川の状況を確認することができます。現在、鶴見川 12箇所、矢上川 1箇所、早淵川および鳥山川に各 2箇所の計17箇所をライブカメラで見ることができます。

HP (ライブカメラ)
http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin_index034.html



ライブカメラ映像

京浜河川事務所ホームページ (河川の管理)

京浜河川事務所のホームページでは、本『河川管理レポート』の他にも河川の維持管理に関する様々な情報を発信しています。

また、国土交通省からも様々なリアルタイム情報が配信されています。

HP (河川の管理)
https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin_index007.html



【京浜河川事務所】管理課

〒230-0051 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央2-18-1
 TEL.045-503-4013
 FAX.045-503-4023

【鶴見出張所】

〒230-0051 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央3-16-13
 TEL.045-501-3038
 FAX.045-501-6744
 担当区間：河口～末吉橋

【新横浜出張所】

〒222-0036 神奈川県横浜市港北区小机町2081
 TEL.045-476-5003
 FAX.045-476-5004

担当区間：鶴見川 末吉橋～第三京浜
 矢上川 鶴見川合流点～渋川合流点
 早淵川 鶴見川合流点～高田橋
 鳥山川 鶴見川合流点～岸根小橋